

## 6-1 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1989年7月～12月)

Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,  
Southwest Japan (July – December, 1989)

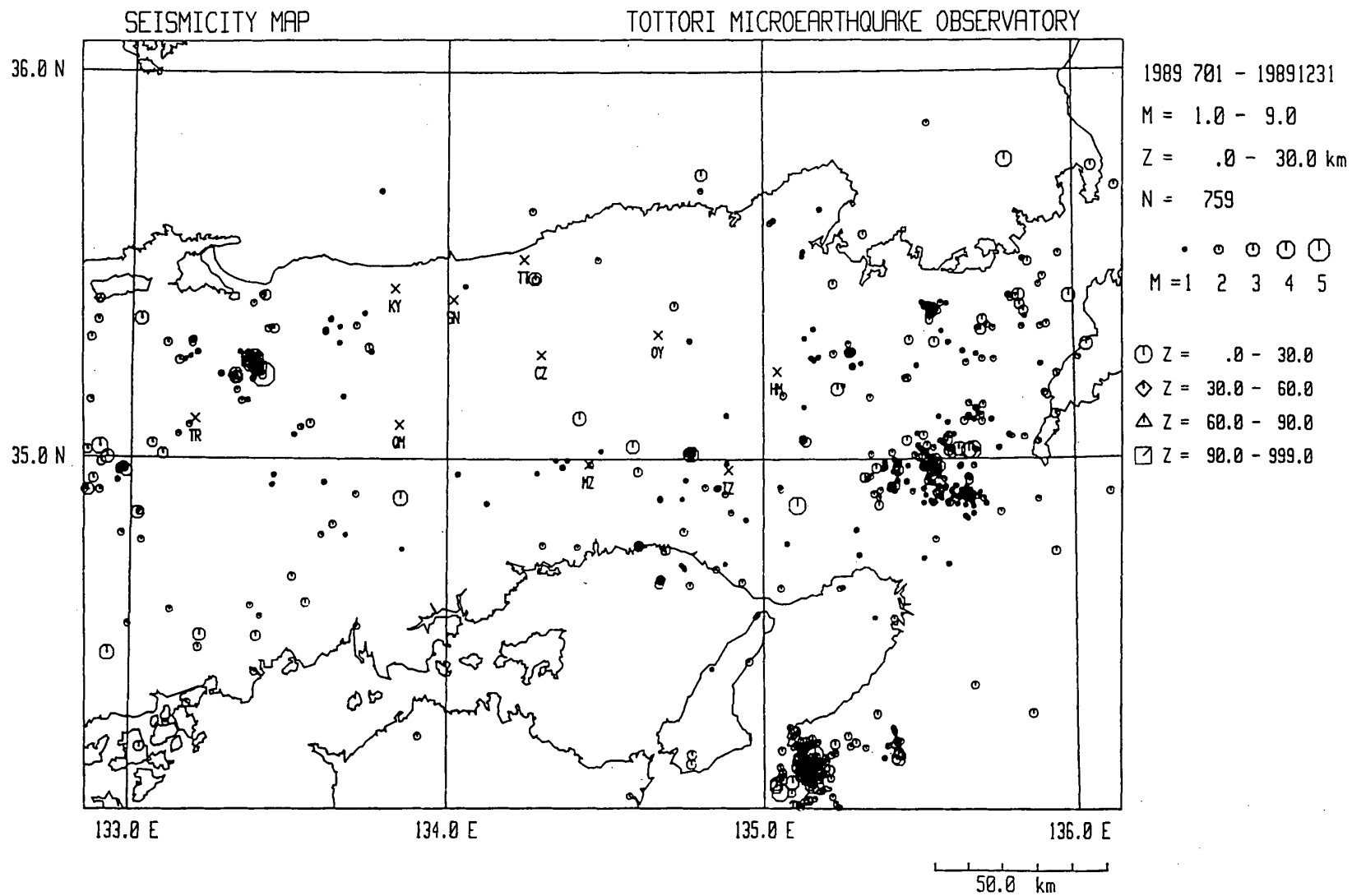
京都大学防災研究所 鳥取微小地震観測所  
北陸微小地震観測所

京都大学理学部 地震予知観測地域センター

Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku  
Microearthquake Observatory, Disaster Prevention Research Institute  
Regional Center for Earthquake Prediction, Faculty of Science  
Kyoto University

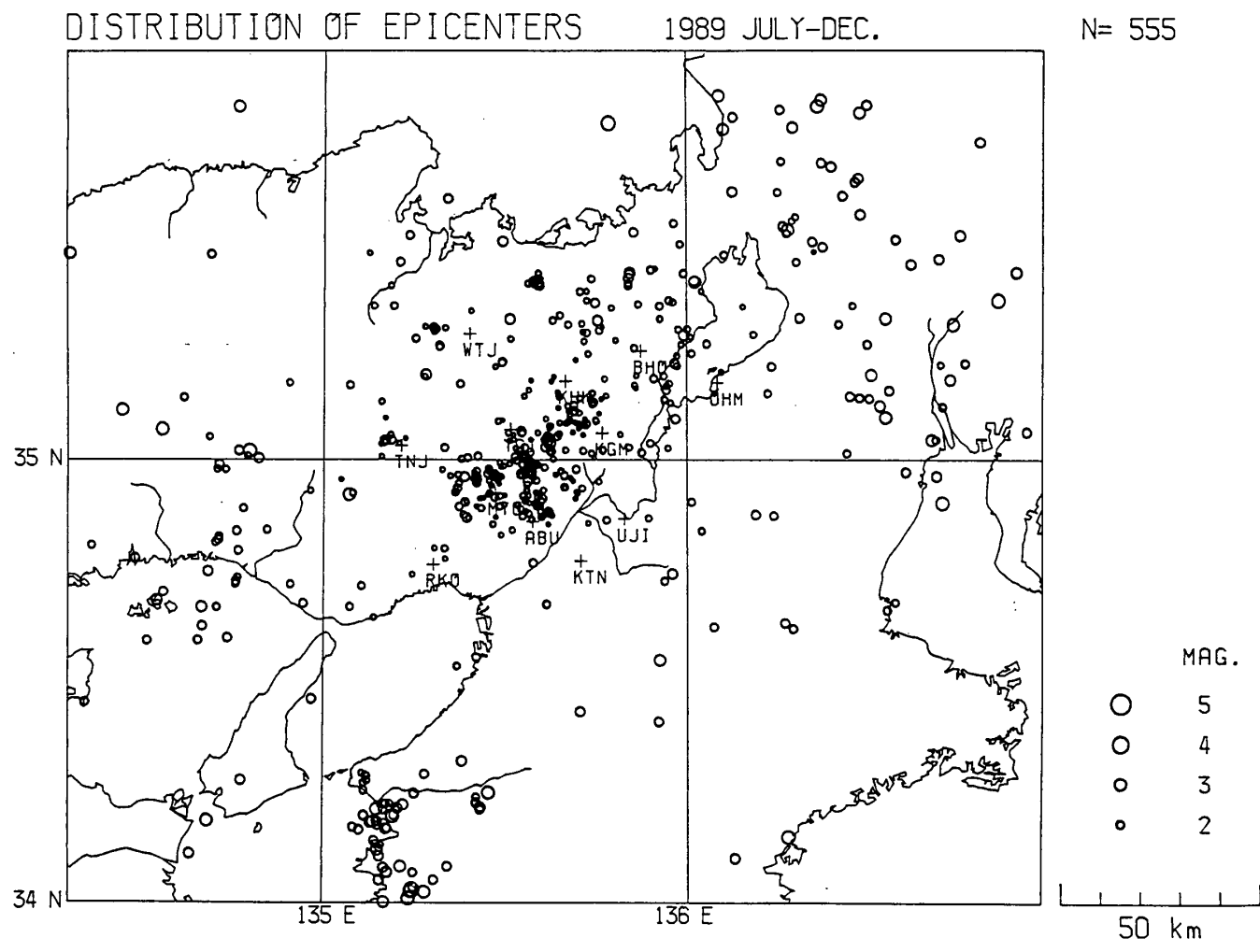
第1図から第3図はそれぞれのネットワークで決められたこの期間の震央分布である。また、第4図は、震源決定精度を考慮して3つの震央分布をつなぎ合わせたものである。これらの震央分布からみられるように、中国地方東部から北陸地方にかけて地震活動はおおむね静穏であった。

この中で、鳥取県西部の活動（第4図にAで示す）はやや目立つものであった。ほぼ同じ場所で10月27日07時41分と11月2日04時57分にそれぞれM5.3と5.4の地震が発生した。これらの地震により、米子、境、松江において震度3を記録した。しかし、この余震活動は12月までにほぼ終結した。鳥取県の地震活動は東部の鳥取地震の震源域とこの西部地域に目立つが、約35年前（1955年6月23日）にもこの西部地域でM5.5の地震が発生している。



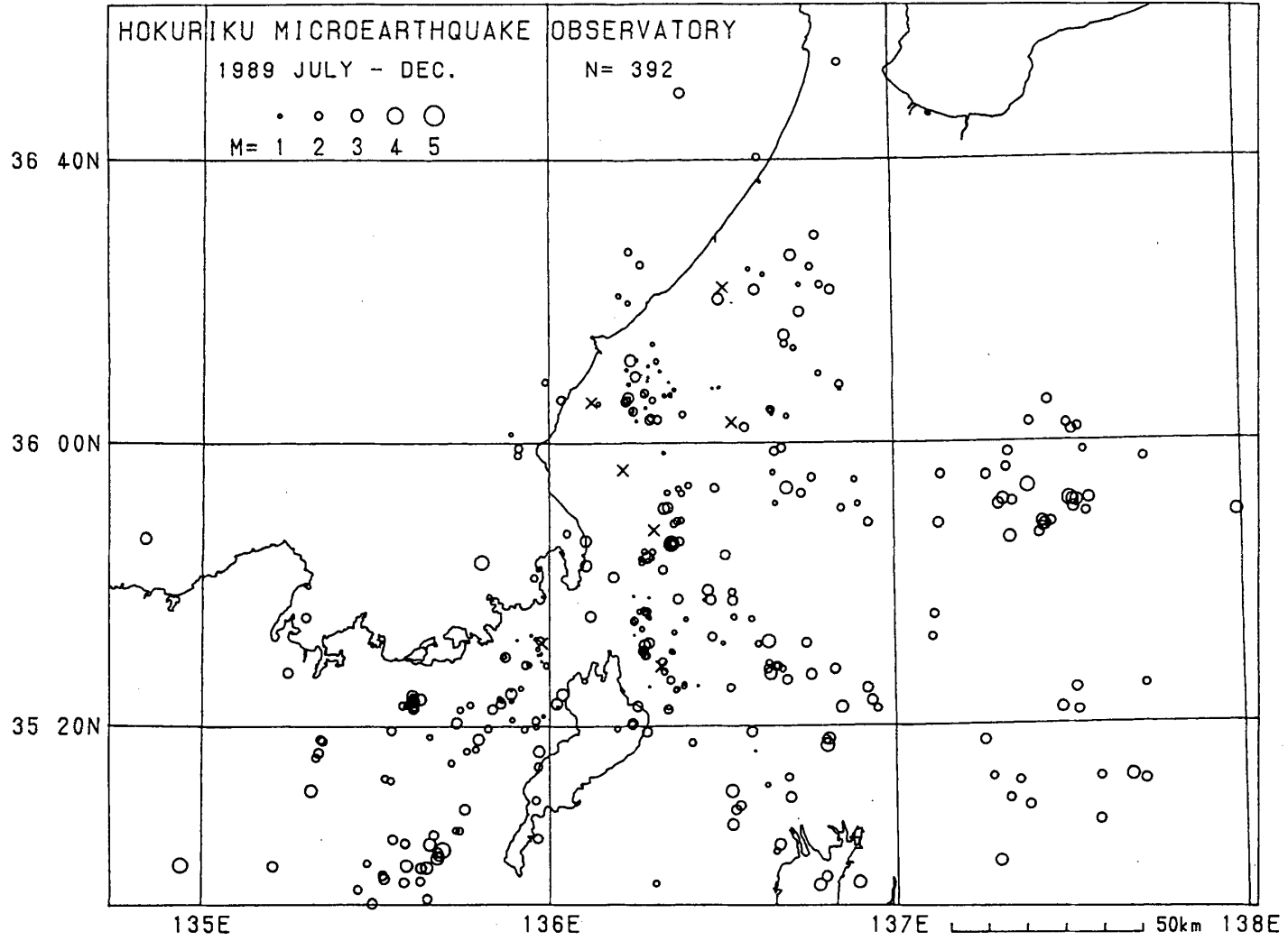
第 1 図 鳥取微小地震観測所による震央分布図 (1989年 7 月~12 月)

Fig. 1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (July - December, 1989).



第2図 地震予知観測地域センターによる震央分布図 (1989年7月~12月)

Fig. 2 Seismicity map by the Regional Center for Earthquake Prediction (July - December, 1989).



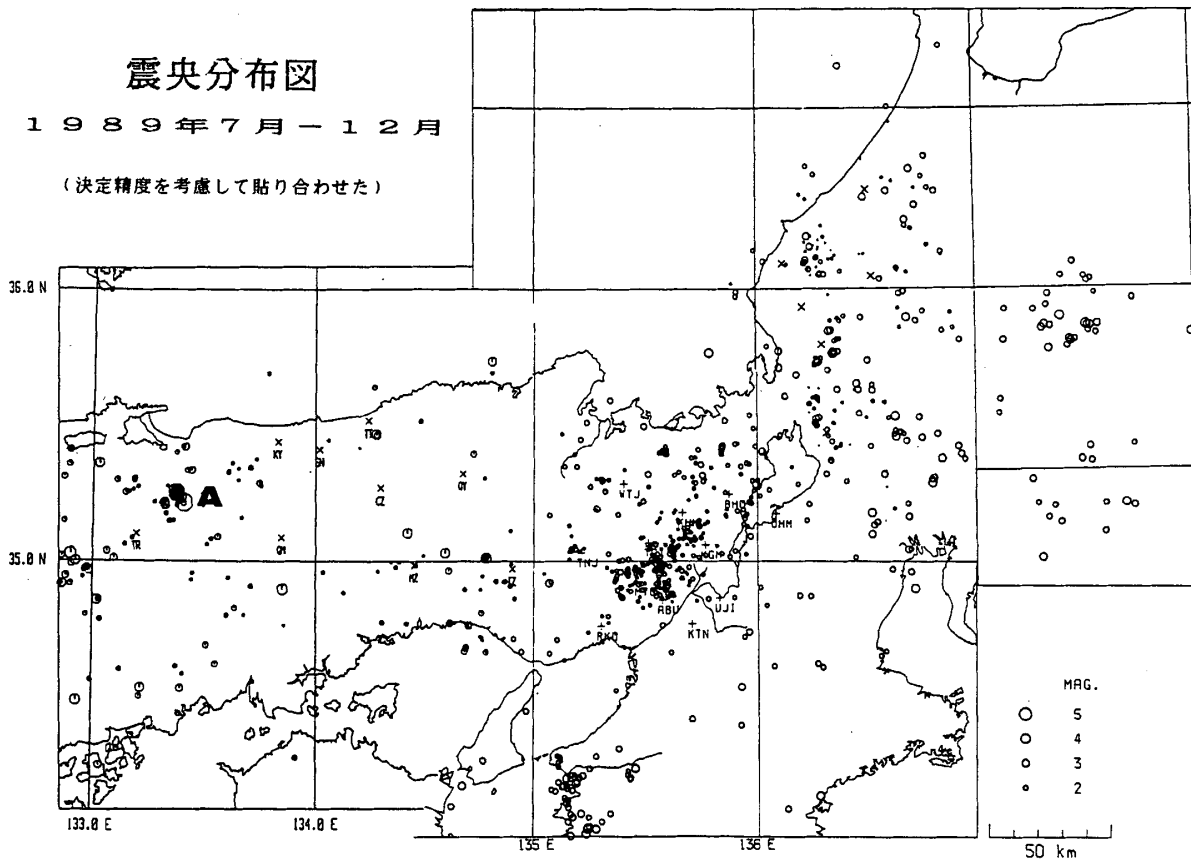
第3図 北陸微小地震観測所による震央分布図（1989年7月～12月）

Fig. 3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (July - December, 1989).

# 震央分布図

1989年7月 - 12月

(決定精度を考慮して貼り合わせた)



第4図 全域の震央分布図 (図1～図3を貼合わせた)

Fig. 4 Seismicity map pasted up from Figs. 1 - 3.